

福島県産水産物競争力強化支援事業（一部新規）

1 趣 旨

原子力発電所事故による水産物への風評を払拭し、本県水産物の販路を拡大していくため、第三者認証制度（水産エコラベル等）の活用、高鮮度出荷などの取組により本県水産物のブランド力を強化し、他県産に負けない競争力を付加する。

2 事業内容

- (1) 認証審査及び認証取得支援事業
漁業関係団体及び水産加工流通業者が水産エコラベル、HACCP認定等を取得するための経費を補助する。
- (2) 県産水産物ブランド力向上促進事業
 - ア ブランド強化戦略策定支援事業（新規）
県産水産物のブランド強化を進める戦略等の策定に要する経費を支援する。
 - イ ブランド強化機器等整備支援事業
漁業関係団体が行う水産物のブランド強化を図るために必要な機器の整備を支援する。
 - ウ ブランド水産物流通拡大実証試験支援事業（新規）
県産水産物のブランド力向上と流通拡大を図る実証試験に要する経費を支援する。
 - エ 新商品開発・ブランド強化促進委託事業
加工業者グループから優れた商品開発アイデアを募集し、開発助成金を支給するコンペティションを開催する。
- (3) ブランド水産物等流通支援事業
 - ア ブランド水産物等販路確保委託事業
大手量販店等でブランド水産物等の販売コーナーを一定期間設置し、安全性と美味しさをアピールし販路の回復につなげる。
 - イ ブランド水産物等販路確保支援事業
アの取組等において、水産関係団体がブランド水産物を流通する際の経費を支援する。
 - ウ ブランド水産物等利用拡大補助事業
水産関係団体が企業社食等へブランド水産物を流通する際の経費を支援する。

131

4 予 算 額

水産関係団体が企業社食等へブランド水産物を流通する際の経費を支援する。

- (4) ふくしま水産情報発信事業
輸入規制の撤廃に向けて県産水産物の正確な情報を海外へ広く発信する。
- (5) 漁業担い手活動支援事業
漁業者自らが取り組む市場直売会や6次化商品開発などの活動を支援する。

3 事業実施主体

- | | |
|------------------------|------------------|
| (1) 漁業関係団体及び水産加工流通業者 | (4) 県 |
| (2) ア、イ、ウ 漁協、漁連、水産加工組合 | (5) 漁協、漁連、水産加工組合 |
| エ 県 | |
| (3) ア 県 | |
| イ、ウ 漁協、漁連、水産加工組合 | |

4 予 算 額

615,000千円

5 補 助 率

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| (1) 定額（10/10以内） | (4) ー |
| (2) ア、ウ：定額（10/10以内）、イ：5/6以内 | (5) 定額（10/10以内） |
| エ：ー | |
| (3) ア：ー、イ、ウ：定額（10/10以内） | |

6 事業実施期間

令和3年度～令和7年度

【担当課：生産流通総室水産課 024-521-7376、7378】

132

現状と課題

○ 県産水産物の安全・安心情報を発信するが……

・**県産水産物CM**やJR等での**ポスター掲示**を行っているが、**クレームが多く、苦戦**



PRポスター

・約1割の消費者が県産水産物の購入に消極的

※**イメージ向上対策が必要**

○ 量販店等への販路開拓を進めるが……

・流通段階における**消費者と小売業者との認識の齟齬**

・イオン系列以外の量販店では、県産水産物の取扱に消極的

※**販路と流通の拡大が必要**

○ 競合他産地とのブランド化の遅れ

・競合する北海道、三陸は震災後にいち早く復旧

・**ブランド水産加工品等の開発が大きく遅延**

※**他産地に優る積極的なマーケティングが必要**

1 認証審査及び 17,000千円
認証取得支援事業
水産エコラベル、HACCPの取得に係る経費を支援

【水産エコラベルとは？】
環境に配慮した漁業を認証する制度
(混獲、乱獲、稚魚の保護等)



4 ふくしま水産情報発信事業 117,000千円

①水産物PRイベント開催支援事業 25,000千円



PRイベント

○小名浜・原釜魚市場でのイベント開催
○豊洲市場でのイベント開催

③在日外国人を対象とした 県産水産物PR事業 32,000千円



○在日外国人記者の食べ歩き番組の情報発信
YouTube配信

②マスメディアを利用した情報発信事業 58,500千円



TOKIOカツオCM

○著名芸能人による水産CMの放送



○グルメ系情報誌による水産物の魅力発信

他産地に負けない競争力の付加

ふくしま産品に対するイメージの向上

ブランド力の強化

ブランド水産加工品の開発支援

販路開拓流通支援

2 県産水産物ブランド力向上促進事業 147,500千円

①ブランド強化戦略策定支援事業 6,200千円
②ブランド強化機器等整備支援事業 50,000千円

③**ブランド水産物流通拡大実証試験支援事業** 50,000千円



○活魚出荷の回復等による価格up、流通向上効果の実証試験



④**新商品開発・ブランド強化促進委託事業** 41,300千円
○コンパによる加工品開発競争

5 漁業担い手活動支援事業 10,000千円

○風評払拭のため、漁業者自らが取り組む市場直売会や6次化ブランド商品等開発の取組を支援



ホッキガイ加工品例(左)

3 ブランド水産物等流通支援事業 323,500千円

①ブランド水産物等販路確保委託事業 220,000千円



イオン鮮魚便設置店舗

○首都圏量販店への常設棚設置(新規10店舗)

②ブランド水産物等販路確保支援事業 85,000千円

③ブランド水産物等利用拡大補助事業 18,500千円



○企業社食等への県産魚の供給やECサイト販売を支援
社食利用例(左)

ふくしま常磐ものブランドの確立